「災害を教訓に学びを」

福島学グローバルネットワーク プログラムを紹介

教育旅行や視察旅行など福島県での学びや交流を提案する福島学グローバルネットワーク（黒澤文雄理事長）は12月11日、「福島県災害復興プログラムセミナー」を東京都千代田区の都道府県会館で開いた。旅行会社10社の法人・教育旅行担当者らが出席。東日本大震災や原発事故を教訓に福島の現状に学ぶプログラムなどを紹介した。

東京都内で行われたセミナー

福島学グローバルネットワークは2013年10月にNPO法人格を取得。事務局を福島市に置く。福島県内の自治体や団体、企業と連携し、全国の旅行会社や学校・企業関係者に各種プログラムを提案する。

セミナーには教育旅行や視察旅行、交流事業の受け入れを目指す福島県内の10団体・企業が参加。参加したのは、いわき観光まちづくりビューロー、ふくしまフォレスト・エコ・ライフ財団（ふくしま県民の森フォレストパークあだたら）、ゆうきの里東和ふるさとづくり協議会など。旅行会社との個別商談も行った。

いわき観光まちづくりビューローは、震災の被災体験や復興への取り組みを現地住民が語るプログラムなどを紹介。ふくしまフォレスト・エコ・ライフ財団は、キャンプを通じて災害を生き抜く力を学ぶ災害対応キャンププログラムなどについて説明した。

セミナーでは、原発事故を踏まえ、放射性物質への正しい理解を深め、除染活動の進ちょく状況を知ってもらうため、環境省福島環境再生事務所・除染情報プラザのアドバイザー、青木仁氏による講義も行われた。

福島学グローバルネットワークの黒澤理事長は「災害で得た教訓を学びに変える事業、活動を進める必要がある。遠い土地の問題としてではなく、今この時、福島で学べるように環境づくりに取り組む。受け地と送り手を結んでいきたい」と話していた。【尚野悟】

鹿児島の旅行 大学生が提案

カレッジ報告会

鹿児島県（観光かごしま大キャンペーン推進協議会）とJR西日本は12月16日、大阪市北区のホテルグランヴィア大阪で、「鹿児島カレッジ」成果報告会を開いた。9月に実施した「鹿児島カレッジ」の体験実習をもとに作成した旅行プランを大手旅行会社に提案した。

神戸松蔭女子学院大学の発表

関西大学は、霧島エリアの旅行プランとして、「来い」「恋」「濃い」を掛けたカップルをターゲットにした「初こい。霧島」を紹介。

神戸松蔭女子学院大学は、指宿と大隅のエリアを広域で巡り、従来の「女子旅」とは異なる自然体験などを充実させたパワフルなプランを作成。新幹線旅行の分析や神戸コレクションでのブース出展など、旅行プラン以外の活動も提案した。

首都圏から参加した清泉女子大学は、関西発の出水・さつま町エリアの旅を紹介。首都圏の大学生の旅行ニーズも分析。

通年で楽しむ20代女性をターゲットとした旅行として提案した。

広島経済大学は、甑島エリアで、アルバイトや大学生活などで疲れた大学生の心を癒す旅行を取り上げた。

和歌山大学は、公益財団法人日本交通公社発行の「旅行者動向2012国内旅行マーケットの実施と旅行者の志向」から「男旅」の市場があることを分析。指宿エリアで、開聞岳登山や池田湖のウエイクボードに挑戦する男旅を紹介した。

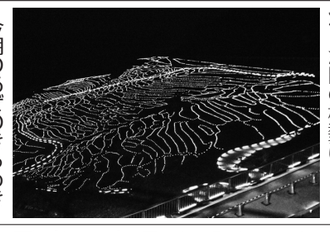
輪島の「あぜのきらめき」

千枚田を光で彩る

3月まで

石川県輪島市の棚田、白米千枚田を太陽光発電のLEDで彩る冬季限定のイルミネーションイベント「あぜのきらめき」が開催されている。今シーズンは光の色が30分ごとにピンク、ゴールドに変化する。11月9日に開幕し、期間は前のシーズンより1カ月間ほど長く2014年3月16日まで行う。

白米千枚田は、国連食糧農業機関が認定する世界農業遺産「能登の里山と里海」を構成する遺産。日本海に面する斜面に広がった田の枚数は100


今期のあぜのきらめき

4枚。面積は約4万平方㍍に及ぶ。ボランティアやオーナー制度などによって保存、継承されている。

あぜのきらめきは、冬の白米千枚田をPRする地域を挙げた冬季のイベントとして2011年度に始まった。イルミネーションは、ペットボトルで作られた「ペットボタル」と呼ばれる装置を利用。1個1個が独立して太陽光で発電し、日が暮れると自動で点灯する。点灯するLEDの数は2万1千個に上る。

白米千枚田―輪島駅間には路線バスがあり、往復割引乗車券が販売されているほか、旅館・ホテルには、白米千枚田に設置できるペットボタルが付いた宿泊プランなどもある。

また、観光客の増加に伴って、輪島市が白米千枚田を眺望できる「千枚田ポケットパーク」を再整備し、レストハウスを食事ができるようにリニューアルしたほか、展望広場や通路を新設した。駐車スペースも拡大し、普通車51台、大型バス5台が駐車できるようになった。

「ムスリム知識集」作成

大阪商工会議所 訪日客対応を強化

ムスリム（イスラム教徒）観光客を関西に誘致しようと、大阪商工会議所（大商）は12月5日、接遇や応対に必要な基礎知識をまとめたガイドブック「ムスリム観光客接遇基礎知識集 アッサラーム アライクム！」を作成した。大商の「旅游都市化推進プロジェクト」のうちの「インバウンドによる買い物消費拡大」事業の一環。大商がインバウンド関連のガイドブックを作成するのは、2年前の中国人対応に続いて2例目となる。

「アッサラーム アライクム」はアラビア語でイスラム圏共通のあいさつ「こんにちは」の意味で用いられる。

ガイドブックはA4判カラー16㌻。ムスリム人口や宗教的ルール（ハラール、またはハラール。その他礼拝や断食の習慣、好ましい服装、偶像崇拝の禁止など）を紹介し、訪日客が多いマレーシアとインドネシアからの観光客の特徴を、各種データを基に示している。

大商では、ガイドブック5千部作成し、会員企業のほか、ムスリム観光客の接遇や応対の向上を目指す小売店、飲食店などに配布する。大商管内以外の店舗や宿泊施設関係者は、大商ホームページからガイドブックの全ての内容を見ることができる。

今後、ムスリムに関するセミナーを希望する商店街や百貨店、ショッピングセンターには、大商職員を講師として派遣し、社員や販売スタッフに対応方法を解説する。

イスラム圏の客 半数以上が増加

大商のアンケート

大商が同日に発表した商業店舗を対象にした「外国人観光客に関するアンケート」の中間結果によると、イスラム圏からの観光客の来店について、「来店している」は26・8％だった。このうち「増加傾向」「やや増加傾向」と回答したのは計51・8％だった。

イスラム教徒の生活習慣やルールを紹介するセミナーや冊子の活用について聞いたところ、「活用したい」と答えた店舗は43・2％だった。

調査は11月1日～12月6日、管内の4652店舗を対象に実施。中間結果はこのうち410店舗の回答をまとめたもの。

お薦めの飲食店 県民の投票開始

高知県

高知県は12月25日から、観光客にお薦めできる地元の飲食店とメニューを県民が投票する「『高知家の食卓』県民総選挙」を実施する。

高知県の広報誌「さんSUN高知」1月号に印刷されている投票用紙に、観光客に薦めたい県内の「飲食店」と「メニュー」、「薦めたい理由」を記入し、郵送か県庁1階県民室、各市町村役場に設置している投票箱に投票する。

投票締め切りは1月20日。投票結果は3月9日に高知市中央公園ステージで発表する。さらに総選挙得票数上位店舗とお薦めの理由を掲載したグルメパンフレットを作成し、観光施設や宿泊施設などで4月から配布する。

大阪城に立体映像

2月16日まで光のイベント

大阪城と城内西の丸庭園で開催する「大阪城3Dマッピング スーパーイルミネーション」が12月14日に始まった。開催期間は2014年2月16日まで。主催は大阪観光局とハウステンボス。

大阪城3Dマッピングは、プロジェクター12台を使用し、大阪城天守閣に立体映像を投影するもの＝写真。大阪城が日本刀で真っ二つにされたり、虎や龍、蝶が舞う姿が迫力の映像で映し出されたりする。

イルミネーションイベントでは、西の丸庭園が青い光で海のように見える「光のビッグブルー」や、高さ15㍍の巨大キューブオブジェ「光のキューブ」を開催。大阪迎賓館前のクラシック音楽に合わせた壮麗な光のショー「ジュエルイルミネーションショー」も始まった。

営業時間は午後5時半から午後10時半まで。料金は一般1600円、小人（4歳から小学生）950円。優先入場と特別エリアでの3Dマッピング観覧付きのプレミアムチケットは3千円。ともに特定日は別途設定。

ラッピングバスを披露

松山市 霊場1200年祭などPR

AKB48のメンバーも参加したセレモニー

「おもてなし日本一のまち松山」を宣言した愛媛県松山市と松山商工会議所は12月14日、松山市役所本庁前広場で、観光PRイベント「ラッピングバス出発式・パネル除幕式with松山おもてなし大使（AKB48）」を開催した。

12月15日の「四国八十八ヶ所霊場開創1200年祭」のスタートに合わせ、ラッピングバスの出発式と、松山おもてなし大使に任命した人気アイドルグループ、AKB48の菊地あやかさんと名取稚菜さんの等身大パネルの除幕式が行われた。菊地さんと名取さんも出席した。

ラッピングバスは、伊予鉄道が運行する貸し切りバスで、団体旅行などに利用される。車体のラッピングは、松山おもてなし大使の菊地さんと名取さんをはじめ、2014年の瀬戸内海国立公園指定80周年、道後温泉本館改築120周年、四国八十八ヶ所霊場開創1200年のほか、道後温泉のアートイベント「道後オンセナート」もPRしている。

菊地さんと名取さんの等身大パネルは、松山空港や松山観光港などへの設置が検討されている。

松山市は、2014年の各周年行事のほか、国の進める訪日旅行推進事業で「京都・広島・松山ルート」が「新ゴールデンルート」として海外の旅行会社などに提案されていることなどが観光への〝追い風〟となっている。

体験型観光の現場 〈370〉

地域観光

ガイドの質の向上を

猛暑の夏が過ぎ、台風や竜巻が通り、豪雨と洪水は甚大な被害をもたらした。そして、日本海側の信越から北海道まで豪雪の年末を迎えた。地球環境は、高度経済成長の数十年間で大きく変化している。人間は長い年月に代替わりしながら、歴史に学び、進化してきたはずだが、残念ながらいじめや犯罪も、殺人や自殺も起こり続けている。子どもを産まれなければ少子化が進むのは当然であり、年月が経てば高齢化も当たり前である。分かっていながら、産み育てたい環境を政策で整えてこなかった。

新たな年が明けても、また毎年の繰り返しになってしまうことなく、歴史と自分の経験を生かし、学び進化し続けなければならない。旅も、交流し、体験し、語り、学びにならなければ、空虚な暇つぶしにしかならない。そうさせない良い旅づくりには、人の存在は欠かせない。

五島市の教会巡り研修会

とりわけ神社仏閣、名所旧跡からは物しか見えてこないが、その歴史の流れや時代背景を理解し考えるならば、心に残り、感動もし学ぶことになる。学びは知識に入れるだけではなく、次に生かさなければならない。

そんな重要な役割を担えるのが「ガイド」の存在である。全国各地で研修会を行っているが、知識を詰め込み、覚える研修が多い。特に歴史的な話題は経験者がいないことから、情報元は文書や資料、あるいは伝承によるものになる。

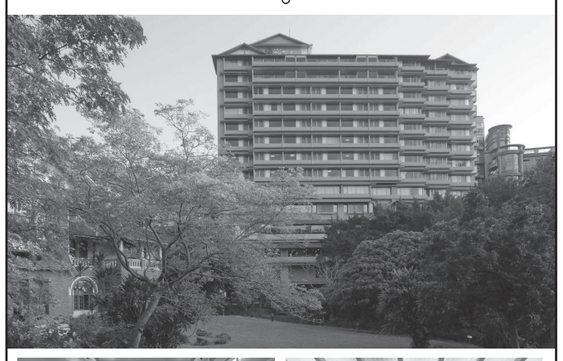
例えば、戦国時代の話なら信長の同級生も、秀吉の友人も、家康の家来も、戦いのその現場にいた人もいないのである。今風に言えばその情報源の開示が必要となる。その情報が不確かな中で、見たような嘘を言い、さも真実かのように自信を持って断言する人に何人も出会った。ガイドの目的が知識をひけらかし、優越感に浸り、顧客満足ではなく、自己満足な場合も少なくない。

今回の世界文化遺産登録への推薦が見送られた「長崎の教会群とキリスト教関連遺産」がいずれ近い内に候補に推薦されるようにと運動が行われている。中でもガイド養成は、緊急かつ重要な課題であり、人数の確保とクオリティ（スキル、ホスピタリティ、コミュニケーション能力、安全と危機管理、内容の統一感）が求められる。

そんな中、過日は五島市（長崎県）でガイド養成研修を行った。ガイドの基本理念、行程進行、顧客への伝え方、設問の仕方や広範囲に渡る情報の提供方法、安全管理などを座学で学んでもらい、さらには現場での実践研修を行った。意欲的な30人を超える参加者があり、備えの第一歩となった。

（体験教育企画代表・藤澤安良）

台湾でも、加賀屋の流儀。
加賀屋が長年培った真心の〝おもてなし〟を台湾でお愉しみいただけます。



台湾・北投温泉 日勝生 加賀屋
お問い合わせは"加賀屋予約センター"まで
☎0767-62-4111　日勝生加賀屋　検索

全景

露天風呂「恵比寿の湯」

能登半島国定公園・和倉温泉
国際観光ホテル整備法 登録旅館（登旅第177号）
加賀屋
〒926-0192 石川県七尾市和倉温泉
☎大代表（0767）62-1111 FAX（0767）62-1121
加賀屋予約センター
☎（0767）62-4111
●東京 ☎（03）3434-5500　●名古屋 ☎（052）571-4421
●大阪 ☎（06）6351-1500　●新潟 ☎（0258）29-2252

冬のご宿泊プラン
世界農業遺産「能登の里山里海」の味を堪能！
石川産ブランド
加能ガニ極上会席プラン
◆詳しくは、加賀屋ホームページ、または、加賀屋予約センターまでお問い合わせください。

〝加能ガニ〟は石川県沖で水揚げされた「ズワイガニ」のことを言い、身のぎっしり感、ふっくらとした歯ごたえとジューシーな甘み、プリプリとした歯応えが特徴です。季節ならではの会席料理でお楽しみください。

能登半島和倉温泉より
謹んで新年のお慶びを
申し上げます。

Facebook　加賀屋　検索